

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成19年9月 15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2671600233
法人名	有限会社 康生会
事業所名	グループホーム三愛の里
所在地	京都府亀岡市千歳町千歳白髭17番地 (電話) 0771-25-2948

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	大阪市北区天満橋2丁目北1番21号		
訪問調査日	平成19年8月9日	評価確定日	平成19年10月17日

## 【情報提供票より】(平成19年6月11日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 3月 20日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10 人 常勤 7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 9 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造スレート葺造り F屋建ての1階部
------	-----------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	26,000 円	
敷金	有( ) 円 ○無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有(無)	
食材料費	朝食	200 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.8 歳	最低	80 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	亀岡病院 瀬尾医院 坂井歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯が見渡せるのどかな景色の良い高台に立地し、民家を改修型のグループホームです。庭には花や木々が植えられており、四季を感じる事出来ます。ホーム内も装飾を工夫し、温かみのある家庭的なホームとなっています。栄養士をはじめ高いスキルを持った職員が多く、法人代表、管理者ともに理念の共有をはじめ、モラルや日々の心得について定期的に勉強し、高い意識を持ってケアに取り組まれており、職員の交代も無く、馴染みの関係の中でケアが実践されています。入居者は楽しみ事を持たれており、日々の家事や散歩、買物をはじめ裁縫、パソコン、短歌づくりなど趣味を活かしながら、自分らしく過ごされています。職員は理念にも掲げている通り、人生の先輩として常に学ばせて頂く事に感謝しながら一緒に過ごし、自分が入りたいホームを目指されています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘があった金銭管理について、職員と話し合い個人別の出納帳にするなど管理方法を変更されています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については職員全員で話し合われて評価され、サービスの質の確保に活かされています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	約2ヶ月に1回実施されている運営推進会議では、利用者、家族、行政の方、地域の方が参加されており、行事と一緒に参加して頂いたり、会議による評価を受けたり、良い場となっています。今後さらにより良い会議にするために、双方向的な会議の工夫が期待されます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族がホームに来られた際や電話にて、コミュニケーションを取るようになされており、要望を聞いて、検討し、改善されています。また、家族会を年に2回実施しており、その際にも意見を出せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	自治会に参加されており、地域のお祭りに入居者の写真や作品を展示したり、運動会の見学に行かれています。また、ホームだよりを地域に配布して、グループホームの取り組みを知ってもらう機会に役立てられています。ホームでの行事開催の際は近所の方を招待したり、野菜のお裾分けを頂いたり馴染みの関係づくりがされています。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	2671600233	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念を掲げ、その内容を誰にでもわかりやすくしたものがつくられている。地域の中での暮らしも踏まえて理念にそって支援されている。	○	既に地域に根ざした運営が行われているが、理念の中に地域生活の継続支援、関係性の強化を謳った具体的な内容をわかりやすく盛り込む事が今後期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り時に週に1度、理念を職員で唱和し、共有しながら日々のケアに取り組んでいる。理念をしっかりと理解するために日常の心得としての倫理やモラルについて毎月外部から講師を招いて深く掘り下げて勉強されている		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加し、地域のお祭りの際に入居者の写真や作品を展示したり、運動会の見学に行ったりしている。ホームたよりを地域に配布して、行事の際はホームに来てもらっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で指摘があった金銭管理については職員と話し合い、管理方法を変更している。また、今回の自己評価については職員全員で話し合われて評価された。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	約2ヶ月に1回実施されている運営推進会議では、利用者、家族、行政の方、地域の方が参加されており、行事と一緒に参加して頂いたり、会議による評価を受けたり、良い場となっている。	○	日常的に関係者とは交流をもたれ、運営推進会議以外にも情報交換されているが、今後さらにより充実した良い会議にするために、双方向的な会議の工夫が期待されます。

グループホーム三愛の里

外部	自己	2671600233	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは常に連絡、相談できる関係にあり、なにかあればすぐに相談し、ホームでの実態を話しながら情報を共有している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族に電話や訪問時に暮らしぶりや健康状態について報告をしている。また写真や行事案内を掲載した家族通信を毎月作成し送付している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族がホームに来られた際に、コミュニケーションを取るようになされており、要望を聞いて改善している。また、家族会を年に2回実施しており、その際にも意見を出せる機会を設けている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設より離職が無く、馴染みの職員でのケアがされている。 ボランティアの方についても馴染みの関係づくりが出来ている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の会議の際に内部研修をしたり、モラルについて毎月外部より講師を招きホームで研修をしたり、外部研修に参加している。研修参加後は報告書を作成して、会議で報告し、資料の回覧をして情報の共有をしている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の施設との交流やグループホーム協議会、連絡会に参加し、会議や勉強会、職員交換研修を通してサービスの質の向上を図っている。</p>		

グループホーム三愛の里

外部	自己	2671600233	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自然な様子を見せてもらったり、情報の整理をして入居後1週間はマンツーマンで関わり、馴染めるように工夫しながら支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念にも掲げられている通り、人生の先輩である入居者から学ばせて頂く事を大切にされており、料理や習慣などについて一緒に過ごしながら職員は学んでいる。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者、家族とのコミュニケーションを大切にして、その方を知る事によって把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	解決すべきニーズを明確にし、長期目標を掲げ、それを達成するための短期目標を記載した個人別のケアプランを作成している。本人、家族の要望についてもケアプランに明記している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常は、3ヶ月に一度の見直しで、状態の変化にはすぐに対応している。月1回カンファレンスを実施し職員間で話し合っている。また、プランは行動実施表にてモニタリングされている。		

グループホーム三愛の里

外部	自己	2671600233	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	お墓参りや買物などの個別外出、通院介助など職員体制など工夫しながら柔軟に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談して、馴染みの医師にかかっている。医療連携体制にて1週間に1回訪問看護師による健康管理を受けてる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に希望を必ず確認し、ターミナルについて同意を得ている。実際にターミナルケアに入る場合は、その都度関係者と話し合いながら共有してケアにあたっている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念の中にも「尊厳」を掲げ、「幸せづくりの今日の行動」や「日常の心得」にて仕事をする上でのモラルを大切に、勉強会を通して、職員間で共有しながら常に入居者の立場に立ったケアがされている。また、個人情報については鍵のかかる所で保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の体調や希望に合わせて支援している。		

グループホーム三愛の里

外部	自己	2671600233	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活の一部として買物、調理、配膳、食事、後片付けを入居者の個々の力を活かしながら、意志を大切にしながら場面づくりをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に沿った入浴を支援している。入浴拒否される方にはタイミングを工夫している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的な調理や掃除、買物、テーブル拭き、花や畑づくり、縫い物、短歌づくり、パソコンなど一人ひとりの楽しみ事、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物に出来るだけ入居者が行きたい時に行けるように支援している。また、月に1、2回外出に行ったり、季節毎の外出も支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。外の門は家族の同意を得て施錠している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月ホーム内で避難訓練が実施されている。近所に職員も多く住んでおり協力を得られている。		

グループホーム三愛の里

外部	自己	2671600233	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員に栄養士、調理士が配置されており、バランスの取れた献立が考えられている。一人ひとりの食事摂取量についてはしっかり記録がされており、水分補給についても出来るだけ配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	とても明るい自然の光が差し込み眺めの良いリビングは居心地が良く、いるだけでほっとする家庭的な空間である。季節の花や装飾、グリーンカーテンなど工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していた馴染みの家具など持ち込まれており、お花や写真、レクで作成したカレンダーなど飾り、安心して過ごせる居室づくりがされている。		